

国立国語研究所学術情報リポジトリ

発音・アクセントをめぐって

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 尾崎, 喜光 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002894

3. 発音・アクセントをめぐって

言語行動研究部第一研究室

尾崎 喜光

1. 発音

前回富良野調査での調査項目は次のとおり。富良野パネル調査では全項目を調査。富良野継続調査・札幌調査でも一部の項目を除いて調査。今回の調査方法は、漢字で書いたりストを提示しながらのなぞなぞ式。録音テープの聞き取りは尾崎。

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 1. イとエの区別 | 5. 語中のガ行子音の鼻音化 |
| 2. 母音の中舌化 | 6. ヒとシの区別 |
| 3. 語中の無声子音の有声化 | 7. {口蓋化子音+u}と{口蓋化子音+i}の区別 |
| 4. 母音の無声化 | |

いずれの項目も、前回富良野調査の時代からすでに非常に共通語的であった。今回の調査（パネル・継続・札幌）でもそのようであった。ただしガ行子音の鼻音化については、鼻音(=鼻濁音)[ŋ]対非鼻音[g]の対立が前回富良野調査の時代から比較的あったので、ここではこれについて報告する。

《ガ行鼻音のおもな結果》

- (1) 時間軸（実時間で見た変化）……前回富 vs. 今回富（パネル富）
あまり変化なし。個人ごとに見てもそう（若干鼻音化傾向があるか）。鼻音／非鼻音は、一度身につけると、27年たってもあまり変化しない。
- (2) 空間軸……富良野（継続） vs. 札幌
富良野の方が鼻音が少ない（札幌の約半分）。
- (3) 時間軸（年齢差から見た変化）……富良野（継続）、札幌
両市とも若年層ほど鼻音は少ない。鼻音は衰退の方向に向かっており、20代、とりわけ10代ではほぼ完全に消滅。なお鼻音の衰退は富良野が先行。

2. アクセント

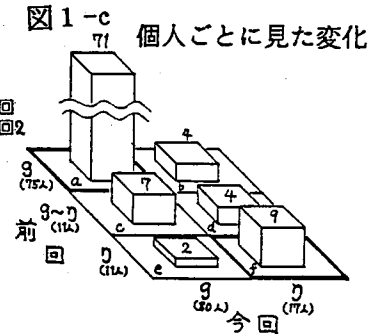
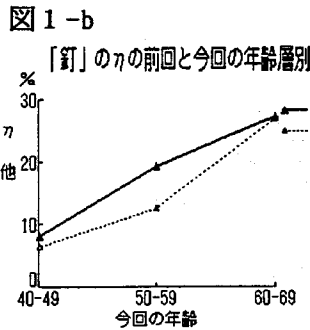
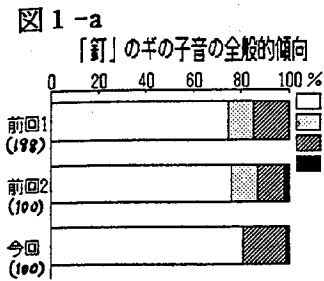
- (1) 時間軸（実時間で見た変化）……前回富 vs. 今回富（パネル富）
かなり共通語化している。個人ごとに見てもそう。アクセントは、一度身につけても、27年の間に変わりうる（方言ア→共通語ア）。[なお図中では7ヶ所は②①0などと数字で示した。すなわち何拍後に「下がり目」があるかで示した。]
- (2) 時間軸（年齢差から見た変化）……富良野（継続）、札幌
両市ともアクセントは全体として共通語化している。しかし中には、共通語化があまり進まずに、方言アクセントが定着していたり（例。「オルガン(を)」の①②）、あるいは若年層で新方言アクセント化したり（例。「あくび(を)」の①）、というものもある。また、東京で新しいアクセントに変化している「熊(が)」(①化)、「電車(が)」(0化)については、両市でも同様の変化が見られた。
[なおアクセントの聞き取りは、澤木幹栄氏(信州大学)[富良野担当]・相澤正夫氏(国語研)[札幌担当]がおこなった。]

◎ガ行鼻音

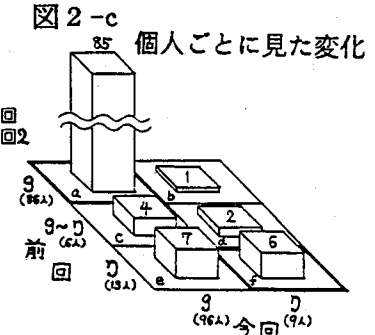
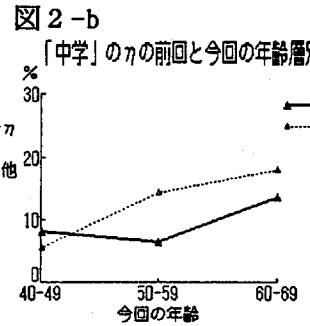
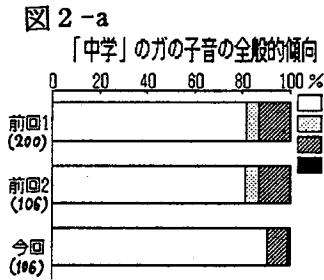
★時間軸（実時間で見た変化）

…前回富良野調査 vs. 今回富良野調査（富良野パネル調査）

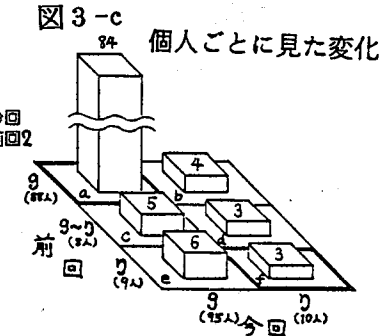
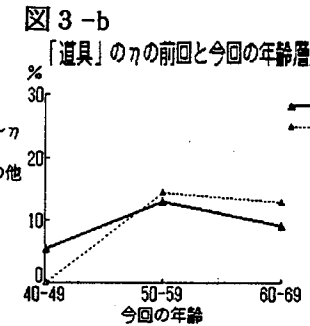
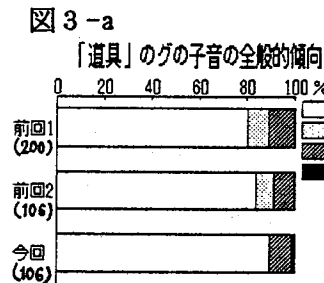
◆「釘」のギの子音



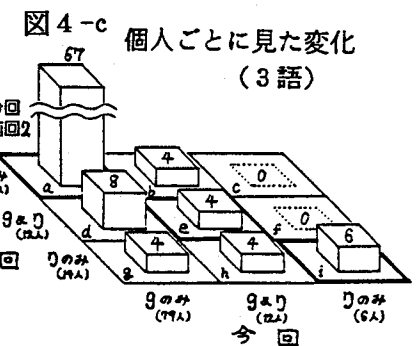
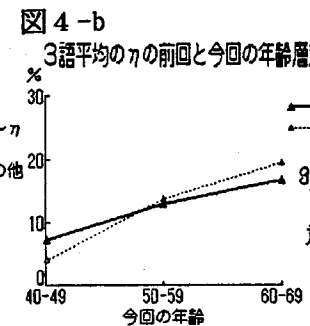
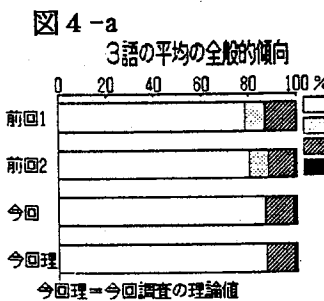
◆「中学」のガの子音



◆「道具」のグの子音



◆3語の平均



◎ガ行鼻音

★空間軸…富良野(継続)調査 vs. 札幌調査

★時間軸(年齢差から見た変化)…富良野, 札幌.

◆「釘」のギの子音

図5-a 「釘」のギの子音の全般的傾向

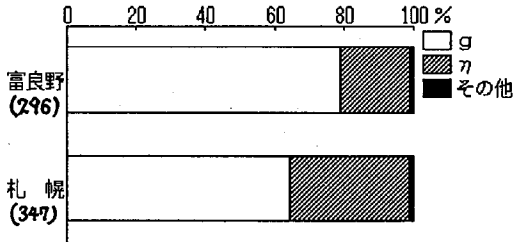
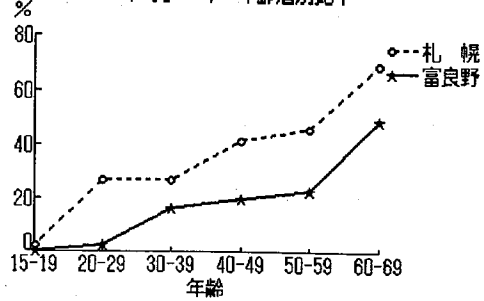


図5-b 「釘」のŋの年齢層別比率



◆「中学」のガの子音

図6-a 「中学」のガの子音の全般的傾向

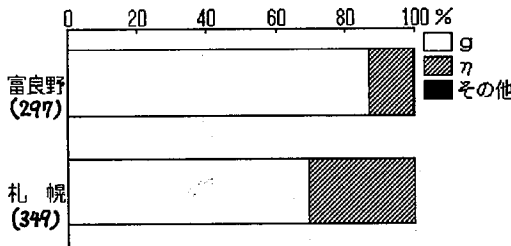
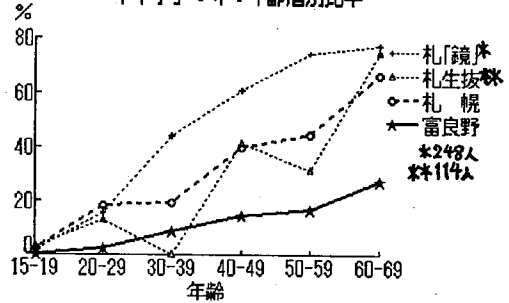


図6-b 「中学」のŋの年齢層別比率



◆「道具」のグの子音

図7-a 「道具」のグの子音の全般的傾向

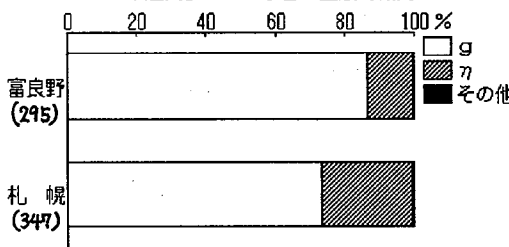
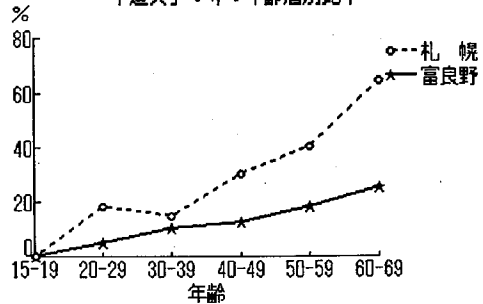


図7-b 「道具」のŋの年齢層別比率



◆3語の平均

図8-a 3語の平均の全般的傾向

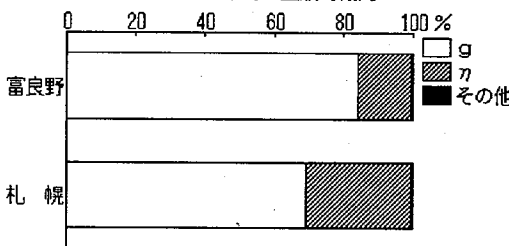
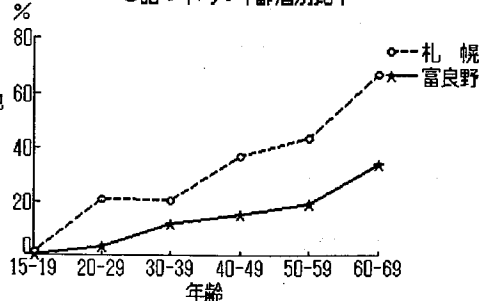


図8-b 3語の平均の年齢層別比率



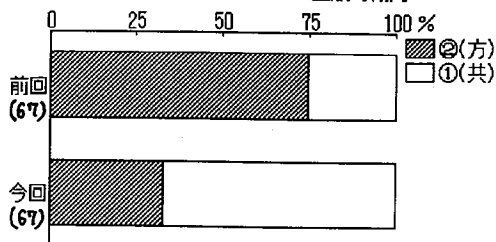
◎アクセント

★時間軸（実時間で見た変化）

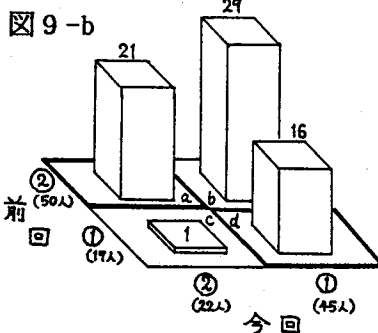
…前回富良野調査 vs. 今回富良野調査(富良野パネル調査)

◆「主人」のアクセント

図9-a 「主人」のアクセントの全般的傾向

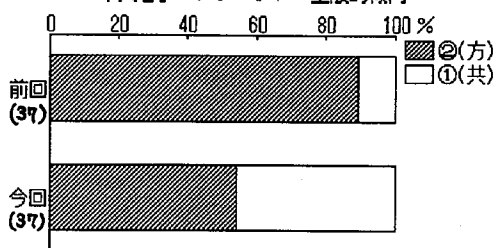


個人ごとに見た変化

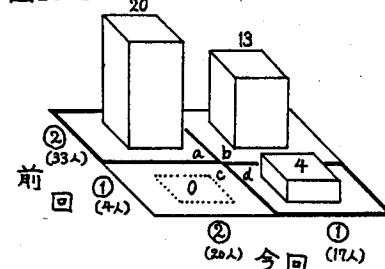


◆「火箸」のアクセント

図10-a 「火箸」のアクセントの全般的傾向



個人ごとに見た変化



◆「窓」のアクセント

図11-a 「窓」のアクセントの全般的傾向

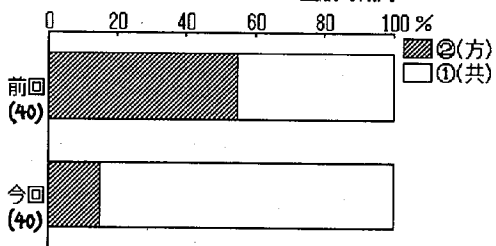
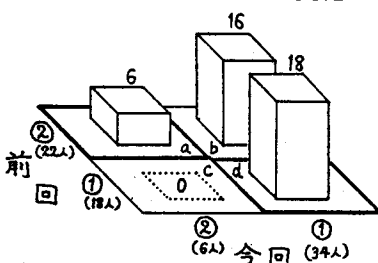


図11-b 個人ごとに見た変化



◆「寿司」のアクセント

図12-a 「寿司」のアクセントの全般的傾向

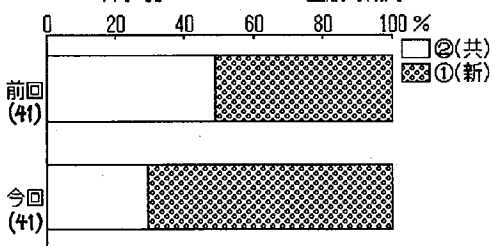
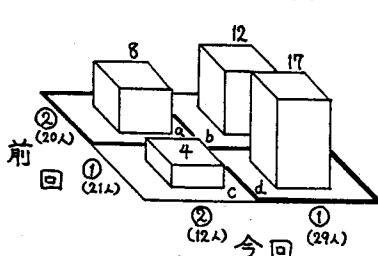


図12-b 個人ごとに見た変化



◎アクセント

★空間軸…富良野(継続)調査 vs. 札幌調査

★時間軸(年齢差から見た変化)…富良野, 札幌

図13-a

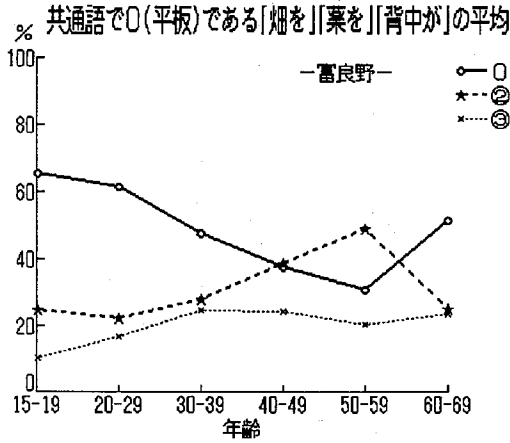


図14-a

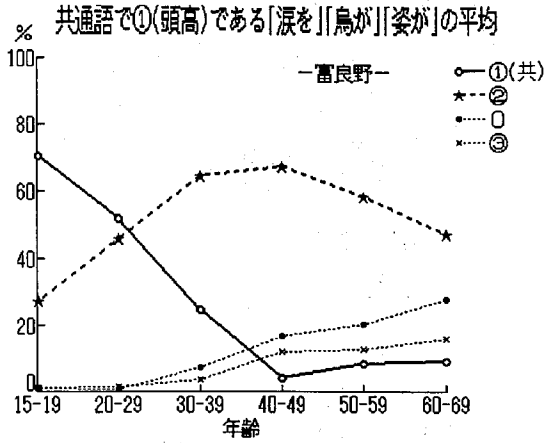


図13-b

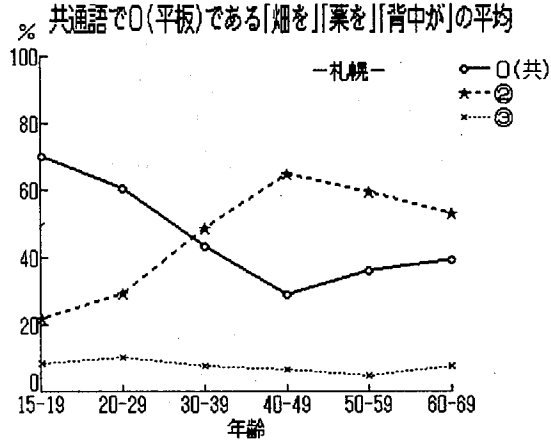


図14-b

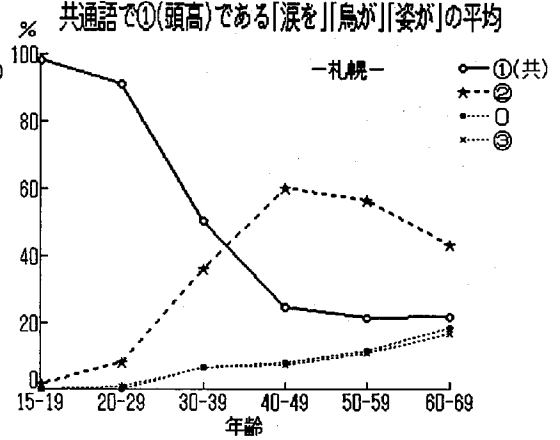


図13-c

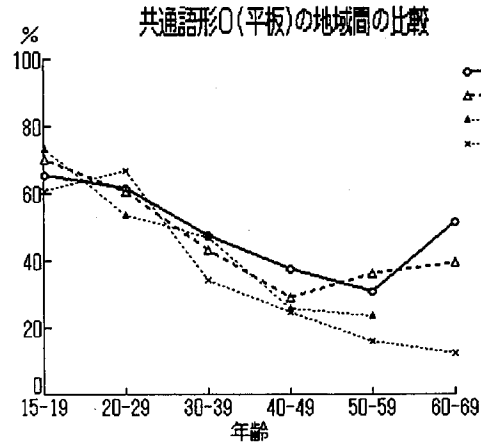
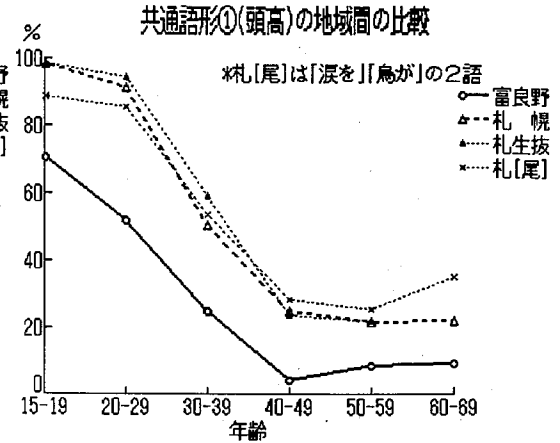
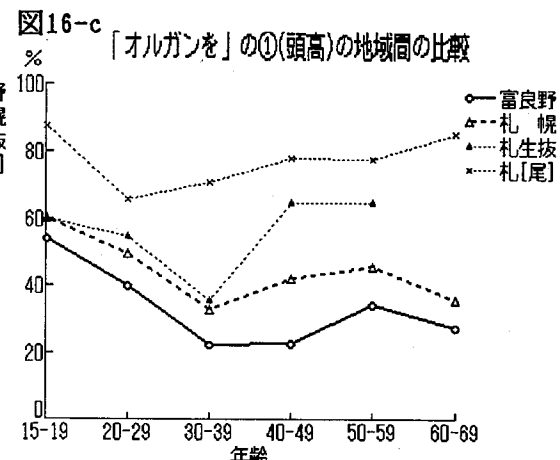
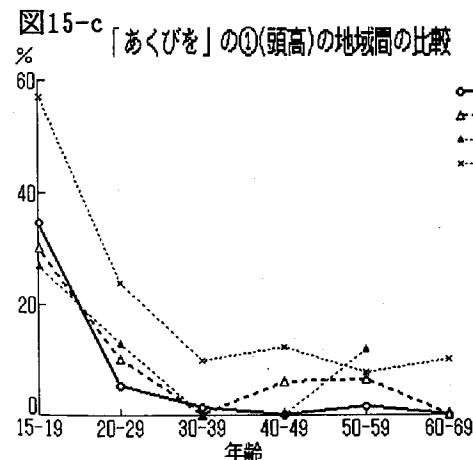
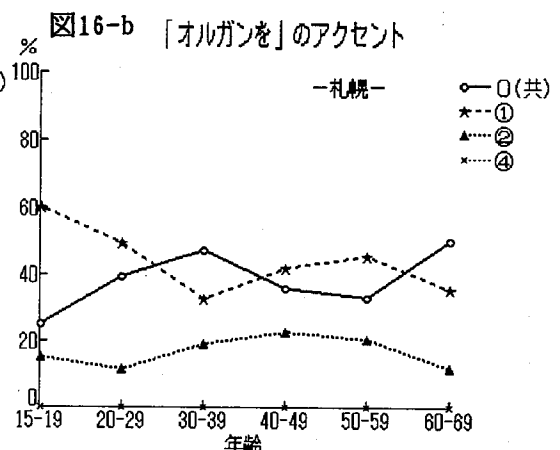
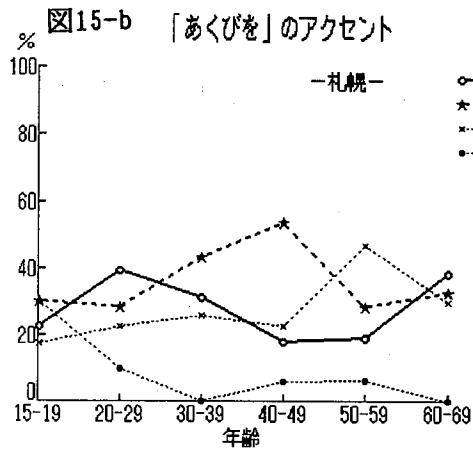
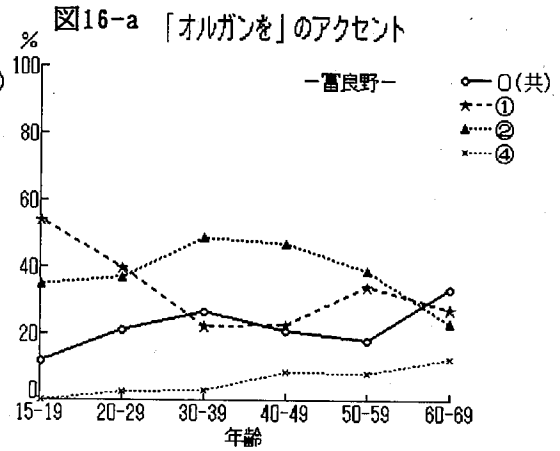
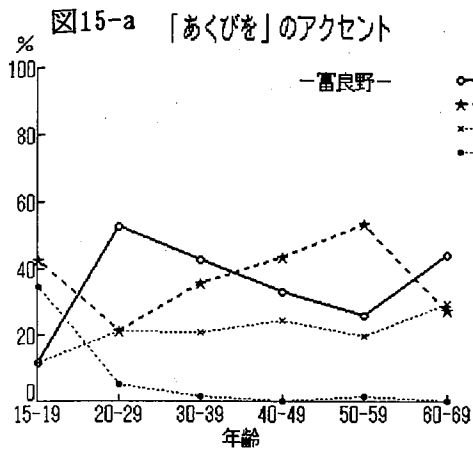


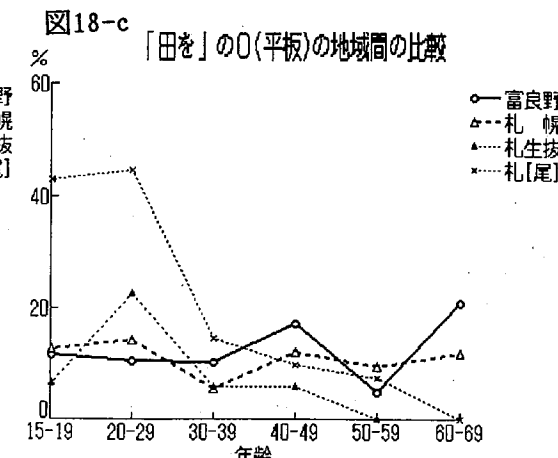
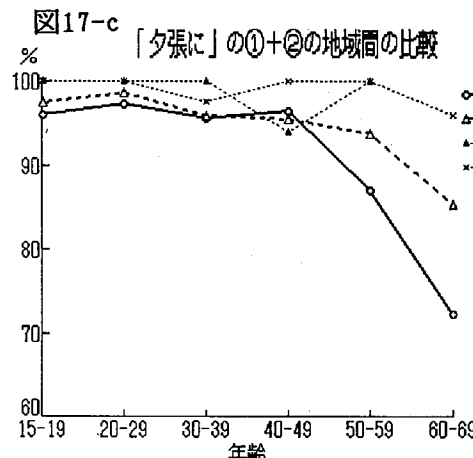
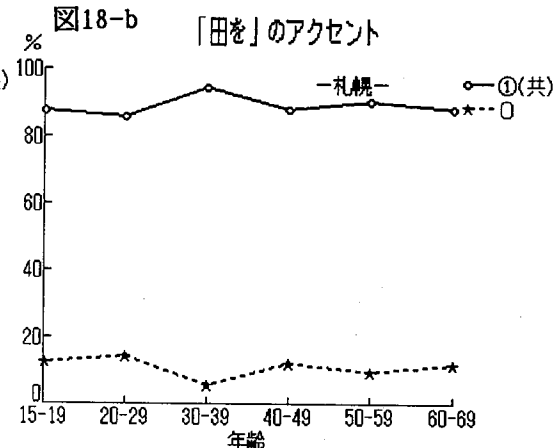
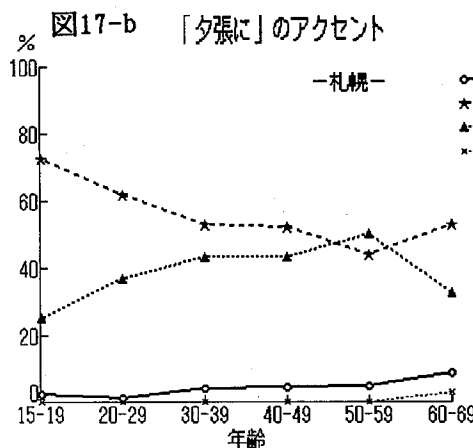
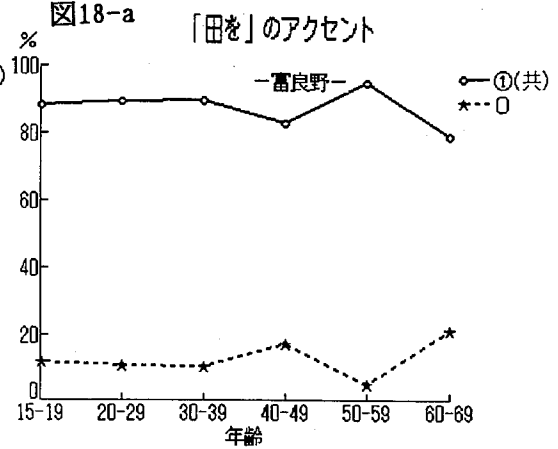
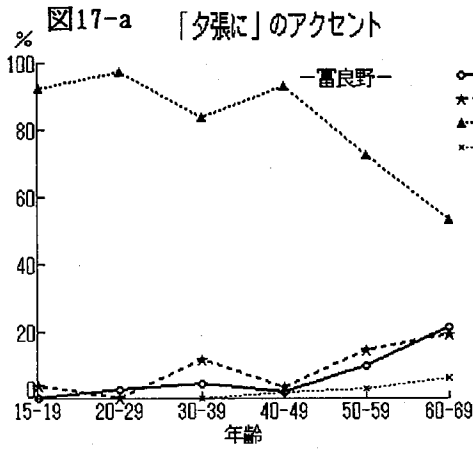
図14-c



◎アクセント

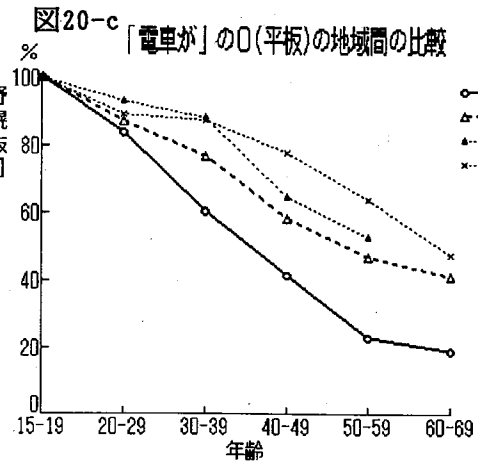
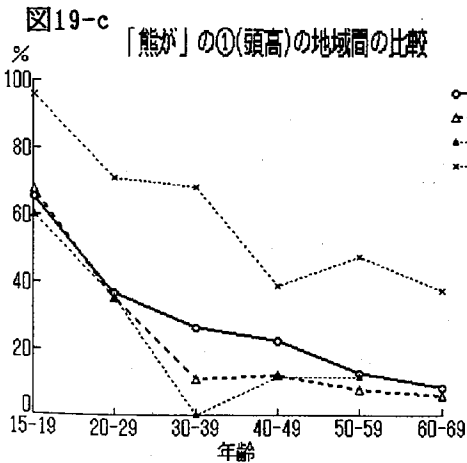
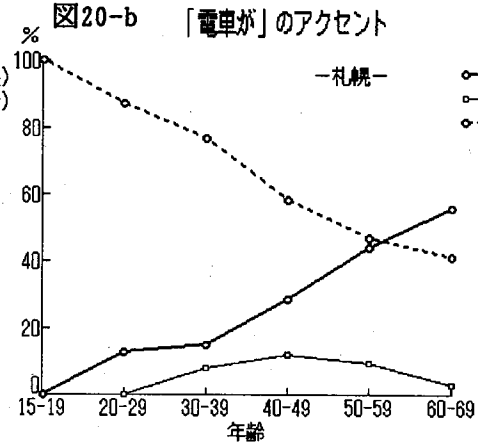
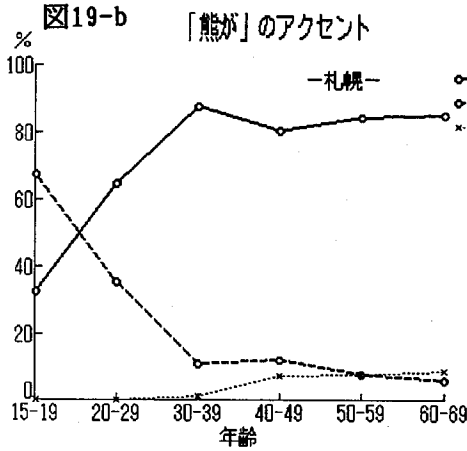
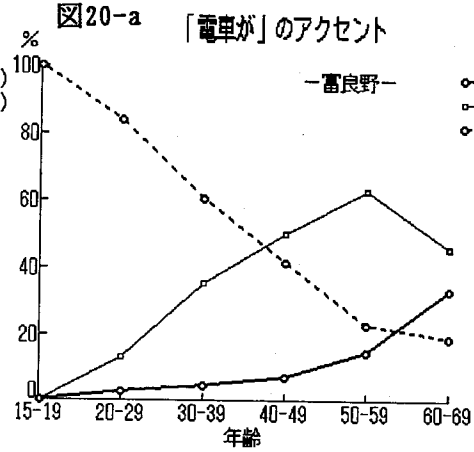
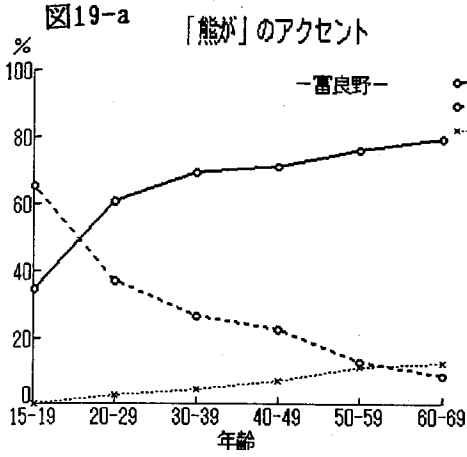
★共通語化しないケース…新方言アクセント化, 方言アクセントの定着





◎アクセント

★共通語化しないケース…共通語での新アクセント化が北海道でも



補足資料

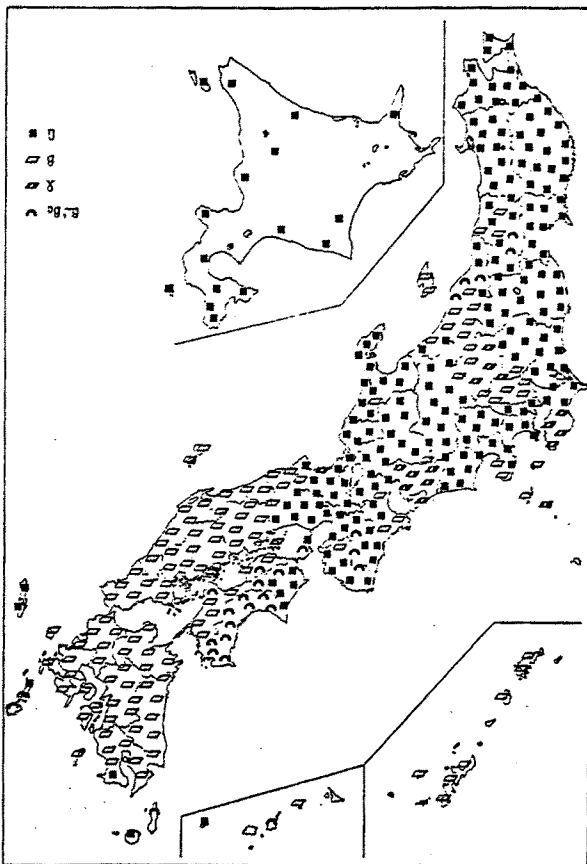
「発音」の調査項目の詳細

1. イとエの区別 (「息」vs.「駅」) …◎
2. 母音の中舌化
 - a. シとスの区別 (「寿司」vs.「煤」) …◎
 - b. チとツの区別 (「土」のチ vs.「月」のツ) …○
 - c. ジとズの区別 (「知事」vs.「地図」) …○
3. 語中の無声子音の有声化
 - a. kの有声化 (「茎」 cf.「釘」) …◎
 - b. tの有声化 (「的」 cf.「窓」) …○
4. 母音の無声化
 - a. iの無声化 (「北」) …◎
 - b. uの無声化 (「口」) …◎
5. 語中のガ行子音の鼻音化 (「釘」「中学」「道具」) …◎
6. ヒとシの区別 (「火箸」「膝」のヒ) …○
7. {口蓋化子音+u}と{口蓋化子音+i}の区別
 - a. シュとシの区別 (「手術」「主人」のシュ) …◎
 - b. ジュとジの区別 (「手術」のジュと「主人」のジ) …◎

注) ○は、前回富良野調査・富良野パネル調査のみで調査した項目。
◎は、さらに富良野継続調査・札幌調査でも調査した項目。

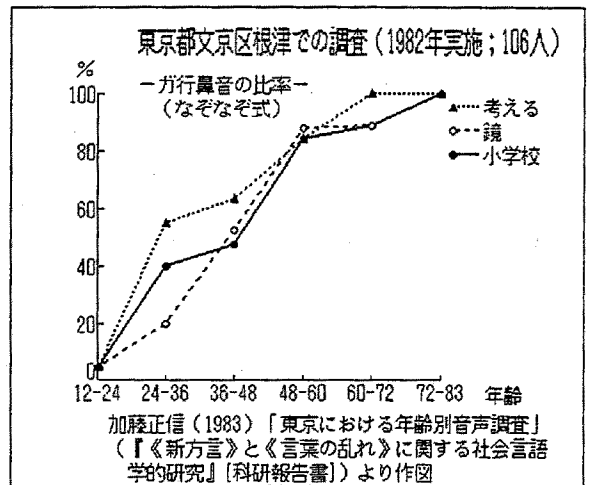
補図1

「鏡」のガの子音の全国分布



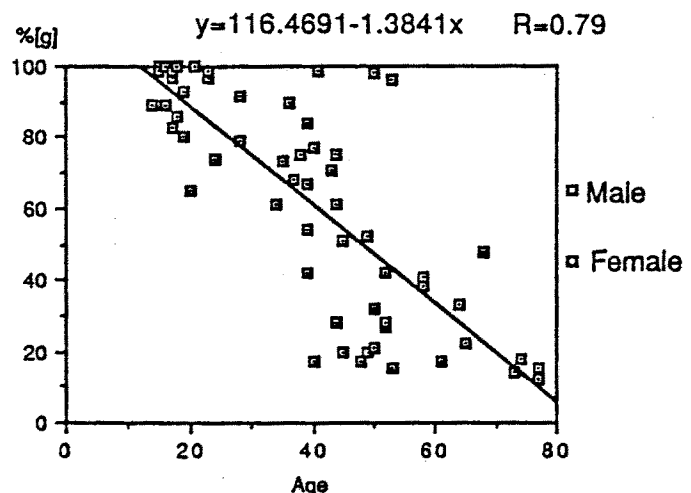
徳川宗賢編(1979)『日本の方言地図』(中央公論社)より引用。

補図2



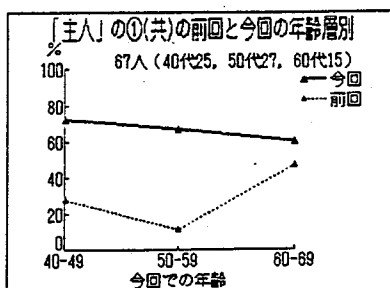
補図3 日比谷潤子氏による根津調査

語中のガ行子音の破裂音化 (Hibiya 1988より)

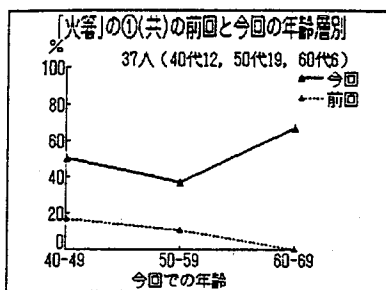


日比谷潤子(1990)「言語変化研究の新展開1」(『日本語学』9-3)より引用。

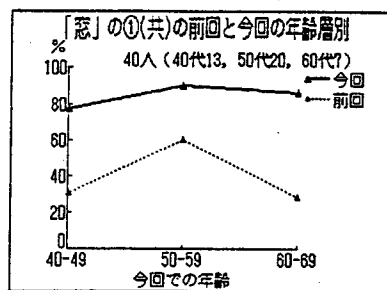
補図4-a (図9-c)



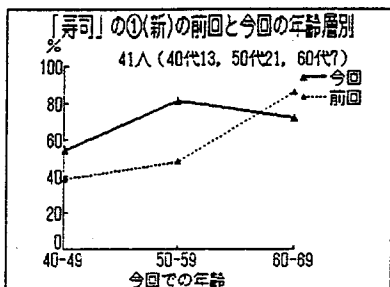
補図4-b (図10-c)



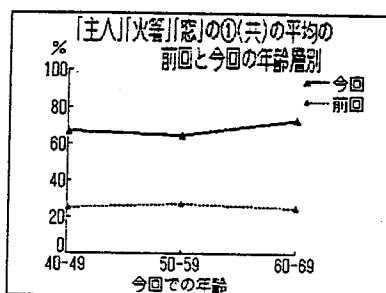
補図4-c (図11-c)



補図4-d (図12-c)

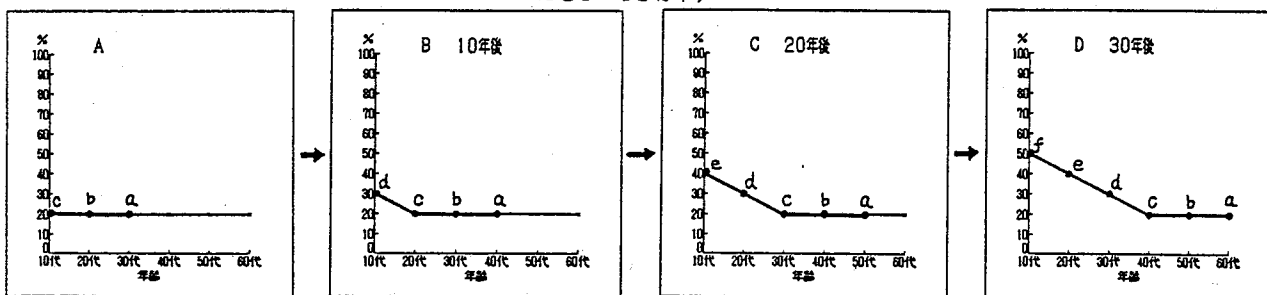


補図4-e



補図5

社会全体としては変化しているが、コーホート (同時期出生集団) には変化が見られないケース。[個人レベルでも変化なし]
例. ガ行鼻音 ([g]の使用率)



補図6

社会全体としても変化しているし、コーホートにも変化が見られるケース。[個人レベルでも当然変化あり]
例. アクセント (共通語の①(頭高)の使用率)

